

# 蓋かけおよび上部利用の検討状況 (中央ジャンクション)

(1 / 2)

## 「対応の方針」

- 中央ジャンクション及び東八道路インターチェンジでは、現段階では、料金所をはじめとして掘割構造で計画していますが、具体的な設計に際しては構造や換気設計、交通安全を考慮しつつ、できるだけ蓋かけ構造を採用し、地域での有効活用が図られるよう検討します。
- 中央ジャンクション部の事業実施に伴い、現況のコミュニティに影響が生じる箇所については、分断道路の機能を補完する道路や蓋かけ部の有効活用等により影響を極力小さくするよう事業者ができる限り蓋かけを整備します。
- 蓋かけ部の上部の整備については、設計段階から、地域のみなさまの意見を十分に聴きながら地域特性や区市のまちづくり計画にも配慮し、公園または緑地的な利用が可能となるよう検討し、区市の意向を踏まえ、関係機関等との調整に努めます。
- 事業実施段階における整備主体や整備後の管理主体については、具体的な検討内容を踏まえながら、関係区市と十分協議します。

## ● これまでの調査

- ・現地の状況を把握し、詳細な設計を行うための測量や地質調査を平成22年7月までに実施しました。

## ● 現在の検討状況(イメージ図)

### 【現計画】



### 【現在の検討状況】蓋かけ構造を検討



## 検討の基本方針

- 地域課題検討会などで頂いた意見を基に、都市計画変更時に掘割構造としているランプを可能な範囲で蓋掛け構造を採用することで、上部利用できるスペースを多くする検討をしています。
- 蓋掛け構造を採用することで、環境への影響を小さくし緑化の範囲を大きくしたいと考えています。
- また、ランプの走行性や安全性を向上させるために、都市計画の範囲内でランプ線形の見直しもあわせて検討しています。

[ジャンクション(JCT)・インターチェンジ(IC)名称は仮称、供用区間は除く]

# 蓋かけおよび上部利用の検討状況 (中央ジャンクション)

(2/2)

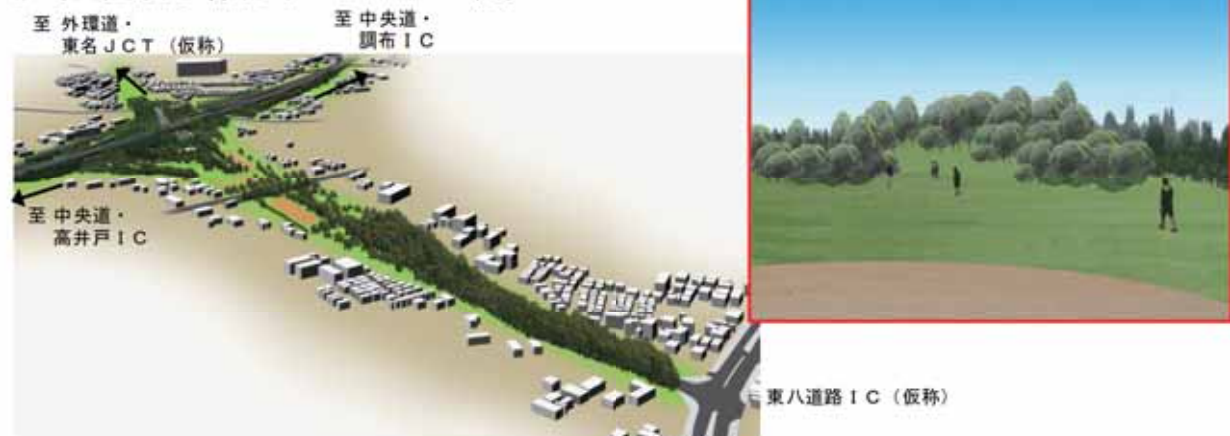
## 「対応の方針」

- 事業実施に伴い失われる緑の量の回復にあたっては、現在世田谷区が進めている「世田谷みどり33」三鷹市の「三鷹市緑と水の基本計画」調布市の「調布市緑の基本計画」を踏まえ、道路の存在によって失われる緑の量と同程度以上の緑の回復を図ります。
- 環境施設帯等の緑化については、設計段階において、区市など関係機関と調整の上、地域のみなさまの意見を聴きながら、地域の既存の樹木にあった植生など自然環境との調和を十分考慮した検討を実施するとともに、人と自然の触れ合い活動の場を創出することを検討します。

## ● [蓋掛け構造検討] (イメージ図)



## ● [公園及び緑化イメージの一例]



### 検討の基本方針

- 上部利用については、今後関係区市のまちづくり計画に配慮しつつ、公園または緑地的な利用が可能となるよう地域のみなさまの意見を聴きながら検討し、関係機関と調整します。

[ジャンクション (JCT) ・インターチェンジ (IC) 名称は仮称、供用区間は除く]

# 機能補償道路の検討状況 (中央ジャンクション)

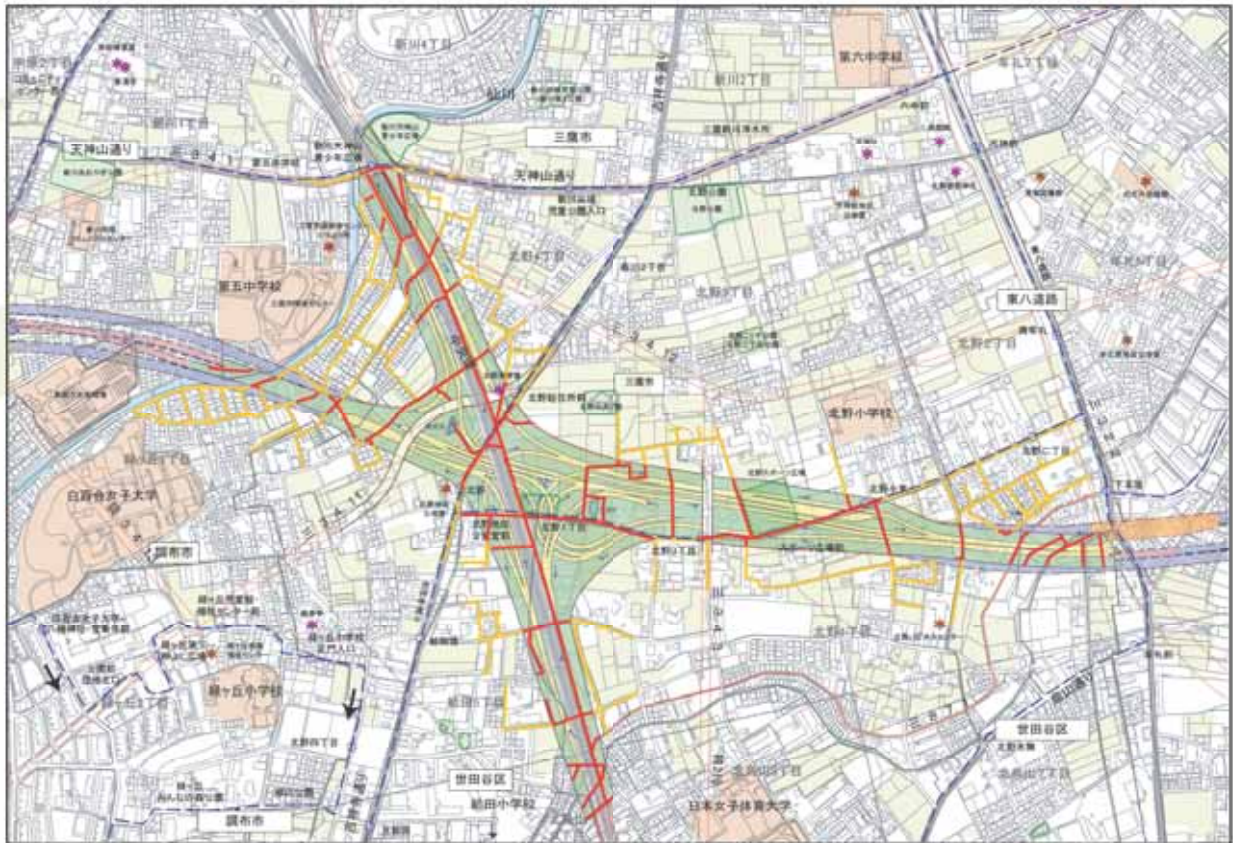
## 「対応の方針」

- 吉祥寺通りや北野中央通り等の分断道路の機能を補完する道路の整備にあたっては、行き止まり道路の状況、周辺の生活道路の状況を把握したうえで、地域のみなさまの意見を聴きながら、区市とともに検討し、それまでの利便性の低下を生じないよう機能確保に努めます。
- バスルートである吉祥寺通りや北野中央通り等の分断対策として、バスルートの確保については、現状を十分把握したうえで、区市と一緒に地域のみなさまの意見を聴くとともに、バス事業者など関係機関と協議しながら、機能の確保を検討していきます。
- 通学路や生活動線の確保について現状を十分把握し、区市と一緒に地域のみなさまの意見を聴くとともに、関係機関と協議しながら、蓋かけ部を含むジャンクション部の利用などにより機能（通学路及び生活動線）の確保を検討していきます。

## ● 現在の検討状況

### 【周辺道路の状況の把握】

- 周辺道路の状況（車線数、幅員、歩道の有無、バス路線等）を把握しました。



### 検討の基本方針

- 通学路や生活動線の現状を把握した結果を基に都市計画道路の計画を踏まえつつ環境施設帯を活用し、現状の機能を補完する道路計画を検討します。
- また、地域のみなさまの意見を聴きながら地域特性やまちづくり計画に配慮した道路計画とするように都区市とともに検討を進めます。